

IV - 3

盛岡市近郊駅におけるパーク・アンド・レールライドの実態調査について

岩手大学工学部 正 員 岩佐 正章
 岩手大学工学部 学生員 ○秋田谷 剛

1. はじめに

近年、都市交通対策の一環として、交通の需要を調整する「交通需要マネージメント」が提唱されている。そこで、交通需要マネージメントの一手法である「パーク・アンド・ライド」について鉄道利用者を対象として、盛岡市の近郊で駐車場のある駅において実態調査を行った。

各駅駐車場利用者はどのくらいパーク・アンド・ライドを実施しているか、現状を把握して、今後のあり方を考える一資料とするものである。

2. 研究の方法

(1) 調査対象

調査対象は表一1 に示すように、盛岡駅を中心とする半径およそ 20Km の円の中に存在する駅で、駅付近に駐車場（駐車場として十分なスペース）が存在する 11 駅を対象とした。

表一1 近郊駅駐車場と駐車可能台数

駅名	駐車可能台数
岩手飯岡	10
矢巾	50
古舘	60
石鳥谷	15
大釜	14
小岩井	10
雫石	80
滝沢	20
渋民	30
好摩	50
岩手川口	30

(2) 駐車場利用者に対する調査

駐車場利用状況を知るためにプレート式断続駐車調査法を用いて調査した。調査日は平成 10 年 10 月 22 日（木）の 7 時から 21 時までである。

次に、駐車場利用者を対象に、調査票を直接利用者の車に置いてくる方法でアンケート調査を行った。調査票の配布は平成 11 年 1 月 19 日の 9 時から 12 時まで各駐車場 2 回行い、回収は 1 月 27 日まで行った。調査票の配布・回収状況は表一2 のとおりである。

(3) アンケート調査票の内容

調査票は、質問 1 と質問 2 から構成されており、

質問 1 は、フェイスシートで基本事項を聞き、質問 2 では、駐車場料金・料金負担・利用目的などの駐車場に関する質問をし、さらに J R に乗り換えたときの最終下車駅・行き先・下車した後の交通手段などについても質問した。

表一2 調査票配布・回収一覧

	配布数	回収数	回収率 (%)
岩手飯岡	3	2	66.7
矢巾	32	8	28.1
古舘	41	13	31.7
石鳥谷	11	4	36.4
大釜	15	5	33.3
小岩井	5	2	40.0
雫石	73	20	27.4
滝沢	13	4	30.8
渋民	28	8	28.6
好摩	36	14	38.9
岩手川口	21	9	42.9
合計	278	89	32.0

3. 調査結果および考察

(1) 駐車場の料金について

駐車場の料金負担について全体の 68.5% (60 人) の人が全額自己負担していて、全額会社負担と答えた人は 3.4% (3 人) と非常に少ない結果となった。また、自己負担している内の 13.1% (9 人) の人は自己負担に疑問を感じているということだった。

(2) 駐車場の利用目的について

表一3 に示すように全体の 91.0% (81 人) の人が J R に乗り換えるために駐車場を利用すると答えていた。その中でも、「平日のみ・通勤のため」の割合が 31.5% (28 人) と最も高く、次に「ほとんど毎日・通勤」が 20.2% (21 人) だった。また、目的だけみると、通勤のために J R に乗り換える人は 75.3% (67 人) という結果になり、ほとんどの人が J R に乗り換えて通勤するために駐車場を利用しているといえる。利用理由は、「J R の方が早くて安い」が 34.6% (28 人) で、次に「J R で行くと楽に行ける」で 29.6% (24 人)、その次に「行き先に駐車場がない」で 27.2% (18 人) となった。

表一3 駐車場の利用目的

利用目的	人数 (人)	割合 (%)
J Rに乗り換えるため	81	91.0
自宅用の駐車場として	4	4.5
会社用の車の駐車場として	3	3.4
その他	1	1.1

(3) 駐車場までの所要時間について

自宅から車で駐車場までの所要時間について質問した。結果は、表一4に示すように 10分 43.2% (35人) 次に、5分 30.9% (25人)、15分 17.3% (14人) の順であった。

10分以内の割合が 74.1%、15分以内だと 91.4% を占めており、自宅から最も近い駅から J R を利用するケースが多く、車で 15 分以上移動してから J R に乗り換えるというのは少なかった。

表一4 駐車場までの所要時間

所要時間	人数 (人)	割合 (%)
5 分	25	30.9
10 分	35	43.2
15 分	14	17.3
20 分	3	3.7
25 分	1	1.2
30 分	2	2.5
1 時間	0	0.0
その他	1	1.2

(4) 最終的に下車する駅について

表一5に示すように、全体の 82.7% (67人) が盛岡駅と答えている。また、他市町村には、北上駅、仙北町駅の 14.3% (各 2人) と水沢駅、花巻駅等の 7.1% (各 1人) であった。

表一5 下車駅からの行き先

行き先	人数 (人)	割合 (%)
盛岡市内	67	82.7
他市町村	14	17.3

(5) 下車駅からの交通手段と所要時間について

最終的に下車した駅から目的地までの交通手段 (バス・徒歩・自転車・バイク・タクシー・その他) に何を利用しているのか、そしてその時の所要時間にどのくらいかかっているのかを知るために質問した。(表一6)

一番多かったのが「徒歩」で 79.0% (64人)、次に「バス」の 18.5% (15人)、「自転車」と「会社の送迎バス」が各 1.2% (各 1人) となった。

表一6 下車駅からの利用交通手段

交通手段	人数 (人)	割合 (%)
バス	5	18.5
徒歩	64	79.0
自転車	1	1.2
バイク	0	0.0
タクシー	0	0.0
その他	1	1.2

また、下車してから交通手段を利用した時の所要時間については、10分 38.3% (31人) で最も多く、ついで 5分 23.5% (19人)、その次が 15分 48.4% (15人)、次に 20分 で 12.3% (10人) の順となり、10分以内で 61.8%、15分以内で 80.3% を占めている。

表一7 行き先までの所要時間

所要時間	人数 (人)	割合 (%)
5 分	25	23.5
10 分	31	38.3
15 分	15	18.5
20 分	10	12.3
25 分	3	3.7
30 分	3	3.7
1 時間	0	0.0
その他	0	0.0

4. おわりに

パーク・アンド・レールライドとは、自宅から近隣の駅まではマイカーで、駅から目的地までは電車で移動するということであり、このような、鉄道と自動車との交通機関との連携を推進していくことは、交通渋滞の解消はもとより、環境面の負担も自動車単体で移動する場合に比較して、はるかに小さくすることが可能である。

ところで、盛岡市近郊駅での実態調査の結果によると、パーク・アンド・ライド利用者は駐車場利用者の 91.0% (81人) であった。しかし、これらの P & R 利用者は何も不満を持たずに利用しているわけではなく、料金が有料であったり、駐車場が整っていない、スペースが狭いなど多くの問題も生じている。パーク・アンド・ライド利用者にとって、無料の駐車場や十分な駐車スペースがあることは重要なポイントとであり、上記のような問題を解消した駐車場が多くなればパーク・アンド・ライド利用者の増加が期待されるであろう。